

市町村名	うるま市
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-	商品開発プロモーション事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ
担当部課名	経済部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
				-1-(4)

事業内容 市内中小企業の商品開発の強化及び販路拡大を図るため、県内外をはじめ中国・台湾などにおける市産品の物産展やアンテナショップ事業を実施する。また、本市の豊かな農畜水産物を活かし、農商工連携による6次産業化を推進するため、戦略的な商品開発と販路拡大に取り組む。さらに開発商品及び食のグルメなどのプロモーション活動を展開していく。

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		(a)当初予算額	27,317			
	(b)予算現額	26,320				
	(c)増減額(b-a)	997				
	(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	26,320				
	B.執行済額	24,509				
	うち交付金充当額	19,607				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	93.1%				
	予算の状況の説明	予算減については、契約締結時に事業内容の精査した結果の減額及び特別旅費の執行残となっている。また、執行率が93.1%に留まっている理由については、事業完了後の委託料を精算した結果、人件費及び事業経費の執行残や旅費の執行残が発生したことが理由となっている。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度(1-)	28年度
・県内外・国外物産展の開催 ・商品開発の実施	目標	(・物産展の開催 (・商品開発の実施)	()	()	()
	実績	物産展等開催 参加:8回 商品開発支援を実施した。	()	()	()
・開発商品取扱店舗の商談の開催 ・グルメアンケート調査の実施及び検証	目標	(・商談の実施 ・アンケート調査の実施)	()	()	()
	実績	・商談イベントを実施した。 ・県内で市産品のプロモーションを併せてアンケート調査を実施した。	()	()	()
達成状況説明	<p>特産品販路拡大支援事業</p> <p>・物産展等への出展:8回(第3回沖縄展(那覇市)6社 おきなわ花と食のフェスティバル2014(那覇市)8社 うるま市フェア(東京都中央区銀座)8社 第13回ちゅらしま大沖縄展(岩手県盛岡市) 沖縄物産&日本全国美食展(台湾高雄市)5社 商品展示場楽蔵(中国広東省莞市)6社 中国世界ブランド輸入博覧会 スーパーマーケットトレードショー2014(東京都江東区)6社 (物産展5回、商談会3回)</p> <p>・国内外の物産展や商談会等に出展する際に必要な経費・旅費の一部を助成を実施。</p> <p>特産品等開発販路開拓支援事業</p> <p>・特産品を活用した商品開発及び既存商品等の改良を考えている事業者に対し、将来自らが中心となって商品開発や販路開拓を推進できるようワークショップを開催(5回)した。また、飲食店メニューへのテスト導入(3品)やバイヤーマッチングイベント(1回)を実施し、事業者の販路開拓の支援も併せて実施できた。</p> <p>食のプロモーション支援事業</p> <p>・昨年開発された、うるまもず(チャンブルー井などうるま市の「食」にスポットをあてたプロモーション活動を実施し、認知度向上を図った。その他、市物産のプロモーションと併せてアンケート調査も実施した。</p>				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (25年度)	25年度	26年度	27年度 (1-)	目標値 (27年度)
	・物産展等売上額	目標	()	()	・売上額 600万円	()	()
実績				・売上額 9,307,763円			
・商品開発数 ・商品展示商談会参加数 ・グルメ等販売数	目標	()	()	・開発数 5品 ・商談会参加数 5社 ・販売数 15,000食	()	()	()
	実績			・開発数 6品 ・商談会参加数 9社 ・販売数 4,852食			
【参考指標】 島ネロの販売数	目標	()	(559本)	(1,000本)	()	(2,500本)	
	実績		559本	2,086本			
【参考指標】 黄金チャンまんじゅうの販売数	目標	()	(531個)	(1,000個)	()	(6,500個)	
	実績		531個	5,729個			
【参考指標】 パッションフルーツピューレの販売数	目標	()	(25kg)	(50kg)	()	(120kg)	
	実績		25kg	102kg			
【参考指標】 トビイカの販売数	目標	()	(0kg)	(500kg)	()	(600kg)	
	実績		0kg	500kg			
【参考指標】 もずくのたれの販売数	目標	()	(0本)	(1,000本)	()	(2,500本)	
	実績		0本	2,200本			
【参考指標】 飲食店で開発した特産品メニューの販売数	目標	()	(900食)	(100食)	()	(720食)	
	実績		900食	270食			
進捗状況説明	<p>特産品販路拡大支援事業 継続して物産展を開催することで認知度が向上するとともにホームページなどでPRしたことで来場者が増加し、目標とした売上額を達成することができた。また、出展者述べ数は、目標より1社少なく、市内企業への周知不足が考えられるため今後は、新規開拓で事業者の掘り起しも含め、周知を徹底し、市内企業への出展を促進する必要がある。</p> <p>特産品開発及びプロモーション支援事業 テレビや新聞等に取り上げられるなど、一定の認知度の向上が図れたことにより、島ネロ、黄金チャンまんじゅう、パッションフルーツピューレ、トビイカについては売上が伸びている。また、島ネロ、パッションフルーツピューレは売上が伸びたことによる原材料不足が起きる課題が出た。</p> <p>もずくのたれについては、製品化によるブラッシュアップのため平成26年度から販売を開始し、順調な売り上げとなった。また、飲食店で開発した特産品メニューについては、事業者が平成25年度末に閉店してしまったが、その後市内別店舗へメニュー提供について働きかけたことで継続販売している。今後は開発商品の質の向上とより効果的な支援について検討し、継続的なフォローが必要である。</p>						

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>特産品販路拡大支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度の物産展における売上額より500万円以上伸びてきていることから、うるま市の認知度が少しずつ向上していると思われるが、全国的にはまだまだ、認知度は不足している。 <p>特産品開発及びプロモーション支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 島ネロについては、販売実績を伸ばしており、現在、売上が3倍以上となったが、原材料が不足し、注文はあるものの平成27年2月～3月まで、販売停止となった。黄金チャンまんじゅうについては、平成25年度の販売時期と平成26年度の同時期を比較して売上が約8倍あり、実績を伸ばしている。それに伴い、黄金芋自体の認知度も高まり、売上増に寄与している。ただ、一次産業との平行で行っているため、生産の上限にきている。パッションフルーツビューレについても原材料がなく、生産できていないこともあり、売り上げは伸びたが、売上を急激に伸ばすことはできなかった。トピカについては、一次加工をすることで、販路が拡大し、完売となっている。もずくのたれは、酢の物のイメージが強く、販売については苦戦している。また、特産品メニューを開発した飲食店は閉店したため、平成26年度からは別店舗での販売を始めた。 	<p>特産品販路拡大支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続した物産展でのPRを進めて、今後さらに売上が上がるよう認知度を高めている。また、新規事業者の掘り起しをし、売上につなげていく。そのほか、会場レイアウトの検討や誘客効果の高いと思われる物産展での販売を検討していく。 <p>特産品開発及びプロモーション支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 島ネロについては、原材料の確保が必要である。また、生産効率をあげるための設備投資が必要となっている。黄金チャンまんじゅうについては、すでに黄金芋の供給が限界に近づいているため、継続的な販売を行うほか、従業員を雇用するなどの対策が必要と思われる。パッションフルーツビューレについても原材料を確保し、安定的な生産が必要である。トピカについては、原材料の確保もさることながら、更なる付加価値をつけて販売することで収益を伸ばすことができないか検討中である。もずくのたれ及び飲食店で開発した特産品メニューについては、継続的な販売で、認知度の向上を図りながら、販売実績を伸ばしていきたい。

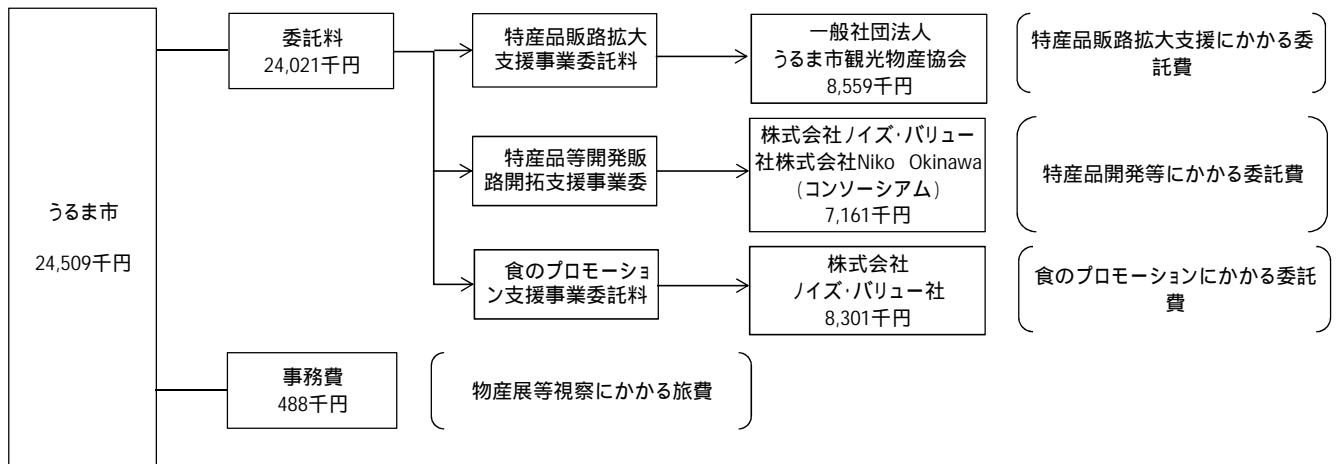
今後の取り組み方針

<p>特産品販路拡大支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続した物産展出展を実施し、うるま市の認知度向上を図っていく。 市内事業者を幅広く支援できるような販路体制の構築を検討していく。 <p>特産品開発及びプロモーション支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内事業者のスキルアップの為に支援を継続していく。食品表示法2015年4月1日の改正に対応した知識の習得と助言を行う必要がある。 島ネロ、黄金チャンまんじゅう、パッションフルーツなどは、原材料不足がないよう、農家とのタイアップを推進し、必要な設備投資については、補助メニューの活用ができないか助言していく。トピカについては、更なる付加価値のある商品への開発ができないか検討していく。 開発された商品についてもブラッシュアップを推進していく。 開発した商品すべてについて継続的なプロモーションを実施し、安定した需要を生み出していく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
24,509	24,509	19,607	4,902	0



資金の流 れ、 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
			支出先の選定方法は妥当か。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	